

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|----------|----------------|
| 化学物質等の名称 | GC耐火塗料 |
| 会社名 | 株式会社 グローケミカル |
| 住所 | 福井県鯖江市下野田町28-4 |
| 電話番号 | 0778-62-3158 |
| FAX番号 | 0778-62-3160 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類において、分類できないもの・分類対象外・区外品については下記に表記していません。

健康に対する有害性

| | |
|-----------------|-------|
| 急性毒性-経口 | : 区分5 |
| 急性毒性-経皮 | : 区分5 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 区分3 |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | : 区分1 |
| 生殖毒性 | : 区分2 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 区分1 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 区分1 |

シンボル: 腐食性・健康有害性



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 飲み込むと有害のおそれ(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
軽度の皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害
長期又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

:

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、すぐに口をすすぐこと。気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。
皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。
皮膚を流水、石鹼で洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

直射日光、高温多湿を避け、容器を密閉して換気の良いところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

| 化学品名 | 含有量 | 官報公示整理番号 | CASNo. |
|------------|--------|----------|------------|
| | | 化審法 | 安衛法 |
| 水酸化アルミニウム | 1~10% | (1)-17 | 21645-51-2 |
| ポリ磷酸アンモニウム | 1~30% | 1-379 | 非公開 |
| 酸化チタン | 1~15% | (1)-558 | 13463-67-7 |
| カーボンブラック | 0~10% | | 1333-86-4 |
| 酸化第二鉄 | 0~5% | (1)-357 | 1309-37-1 |
| 水 | 10~30% | | |

毒劇法 : 該当せず

4. 応急措置

吸入した場合

: 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

目に入った場合

: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

: 誤ってのみ込んだ場合には、水でよく口の中を洗浄し、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐物は飲み込ませないこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

: 情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

霧状の水、粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

使ってはならない消火剤

: 棒状の水

特有の危険有害性

: 火災中に有毒なガスを発生する可能性がある。

特有の消火方法

: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周辺に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

回収物の収納容器は、内容物の処分が済むまで密封しておく。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

: 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

保護具及び緊急時措置

: 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

: 河川、下水、土壤に排出されないように注意する。

海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。

封じ込め及び浄化の方法、
機材

: 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウェス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウェス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策

: 床に漏れた状態のまま放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるためこまめに処理する。
回収物の収納容器は、内容物の処分が済むまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気

注意事項

安全取扱い注意事項

: 本製品を取り扱う際、必ず保護具を着用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を配置する。

: 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。

: 火気厳禁。眼及び皮膚への接触を避ける。

: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

容器を空ける前に内圧を除き、漏れ、溢れ、飛散しないようにし、且つみだりに蒸気を発生させない。

酸との接触を避ける。

この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業を行う。

取り扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

保管

技術的対策

適切な保管条件

: 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
保管場所は、採光と換気装置を設置する。

: 直射日光や高温多湿を避ける。

: なるべく乾燥した場所に保管する。

容器を密閉して冷暗所に保管する。

混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。

酸性物質と一緒に保管しない。

火気厳禁。

: ポリエチレン、ポリプロピレン、缶、ドラム等

安全な容器包装材料

8. 暴露防止および保護措置

設備対策

: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合、換気装置を設置する。

: 設定されていない。

: 設定されていない。

管理濃度

許容濃度

日本産業衛生学会

保護具

呼吸器用の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

衛生対策

: ミストなどの吸入を防げるマスクを着用する。

: 耐油性(不浸透性)手袋

: 側板付き普通型眼鏡又はゴーグル型眼鏡。

: 長袖静電気防止作業着、安全靴、保護前掛け。

: この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしない。

取り扱い後はよく手を洗う。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的および化学的性質

| | |
|----------------|-----------------------|
| 物理的状態、形状 | : 液状 |
| 色 | : 白色 |
| 臭い | : ごく僅か |
| pH | : 7.1~7.9 |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 比重(相対密度) | : 1.35~1.50(25°C/代表値) |
| 溶解度 | : 水によく溶ける |
| オクタール/水分配系列 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解速度 | : データなし |
| その他のデータ | : なし |

10. 安定性および反応性

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 安定性 | : 通常の取扱いで安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 自己反応性なし |
| 避けるべき条件 | : 日光、熱、高温状態 |
| 混触危険物質 | : 情報は得られていない |
| 危険有害な分解性生成物 | : このものは燃えないが塗膜などが燃えた場合、一酸化炭素など |
| その他 | : 情報は得られていない |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|---|
| 急性毒性 | : 経口-区分5 経皮-区分5 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 区分3 |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | : 区分1 (エチレングリコール)ラビット 500mg/24H:MILD 1.44g/6H:MODERATE |
| 呼吸器感作性 | : 情報は得られていない |
| 皮膚感作性 | : 情報は得られていない |
| 生殖細胞変異原性 | : 情報は得られていない |
| 発がん性 | : 情報は得られていない |
| 生殖毒性 | : 区分2 (エチレングリコール)生殖能または胎児への悪影響のおそれ(区分1B) |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 区分1 |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) | : 区分1 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 情報は得られていない |

12. 環境影響情報

| | |
|-------------|---|
| 環境に対する有害性 | : 漏洩、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。 |
| 水生環境有害性(急性) | : 情報は得られていない |
| 水生環境有害性(慢性) | : 情報は得られていない |

13. 廃棄上の注意

- ：廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理を委託する。
- ：容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ：排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

転倒・落下・損傷がないように固定して運搬し、熱源を避け、振動による漏洩を防止する。

次項適用法令の規定に従う。

- | | |
|------|----------------------------|
| 国内規制 | ：消防法・船舶安全法などの法令の定めるところに従う。 |
| 国連分類 | ：非該当 |
| 国連番号 | ：非該当 |

15. 適用法令

- | | |
|--------------------------|-------|
| 労働安全衛生法 | ：該当せず |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) | ：該当せず |
| 消防法 | ：該当せず |

16. その他

追加情報: ここに記載されている情報やここでなされた推薦事項は、当社製品にのみ適用され、他の製品と混合した場合などには適用されません。本書は作成の時点においての知見によるものですが、製品仕様として保証を行うものではありません。このMSDSの内容は、当社の研究部門及び他の信頼できる情報源から得たデータに基づくものであり、正確であると考えてはおりますが、その確度について保障されるものではありません。製品をお使い頂く前に、御購入者の責任により、個別の取り扱い環境に基づきMSDSの内容を確認し、製品がご使用の目的に適しているかどうかをご判断頂く必要があります。

- | | |
|------|-------|
| 参考文献 | 省略 |
| 災害事例 | データなし |